

大政諮第1号
平成17年8月9日

大口町総合計画審議会
会長 高橋 歳治 様

大口町長 酒井 鎭

第6次大口町総合計画の策定について（諮問）

緑豊かな田園と多くの優良企業を有する町「大口町」は、明治の制度で生まれ、昭和の大合併以後に「自立」を築き、平成18年に100周年を迎えます。

また、大口町を取巻く状況は少子高齢化や急速な高度情報化の進行によって大きく変わり、平成12年4月の地方分権一括法の施行は、明治以来続いた中央集権体制を地方分権体制へ変えようとしています。

このような背景を元に、先人の並々ならぬ努力と先見性により築き上げられた郷土大口を、真の豊かさが実感できる町として次の世代に引き継ぐために、行政の仕組みを変え、住民の自立と助け合いでつくる新しい社会を目指したまちづくりが必要です。

そのため、町の理念を示し、すべての施策の羅針盤となる基本方針（第6次総合計画）の策定について、大口町総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、貴審議会の意見を求めます。